

令和5年度 学校要覧



富山県立雄峰高等学校

こんな力を育てます

- 自ら学び考えながら、自分の夢に向かって努力していく力
- 周りの人たちと協働・共生していく力
- 自ら判断し、たくましく生きていく力



学校概観

教育目標

豊かな個性と豊かな心を持ち、生涯にわたって自ら学び考えながら自己実現に努め、社会の変化に対応して逞しく生きる人間の育成を目指す。

沿革概要

昭和 4年5月15日	私立富山中等夜学校開校	60・4・1	専攻科「生活科学科」に改称
12・2・5	県教育会理事会にて県立移管を議決	61・4・1	聴講制度開講（夜間定時制）
12・4・1	県立富山夜間中学として創立、県立神通中学校に併設	62・10・4	創校 50 周年記念式典挙行
18・4・1	県立雄峰中学校と改称	平成 元年4月1日	昼間定時制に普通科設置
22・9・22	創校 10 周年記念式典挙行	2・3・31	生地分校閉校
23・4・1	県立雄峰高等学校（夜間定時制）と改称、県立富山中部高校に併設	3・4・1	専攻科に調理師養成課程設置
28・4・1	通信教育併置（呉東・呉西地区統合）	4・4・1	昼間定時制に単位制導入
33・4・15	完全給食実施（夜間定時制）	5・10・12	管理教室棟外壁及び窓枠改修
34・4・1	集団学級設置（通信制）	8・2・19	校内リフレッシュ工事（本館棟及び格技場内部改修）
38・7・14	荒木万寿夫文部大臣来校	8・4・1	昼間定時制家政科、通信制家政科が「生活文化科」と改称
41・3・26	独立新校舎に移転（富山市赤江町1-45）	9・10・19	創校 60 周年記念式典挙行・記念誌『雄峰高 60 年史』刊行
42・2・26	校舎新築落成式、創校 30 周年記念式典挙行	9・11・3	富山県教育功労優良学校表彰受賞
43・4・1	昼間定時制設置	10・4・1	夜間定時制に単位制導入
44・4・1	通信制集団学級を通信制集団学級（10）と、昼間定時制教場（9）に再編成	11・10・21	日本赤十字社金色有功章受賞
44・10・19	坂田道太文部大臣来校	13・4・1	昼間単位制普通科にⅡ部制導入、定時制課程Ⅲ部制成立
45・4・1	本校の組織を夜間定時制、昼間定時制、通信制の三課程に改編	15・3・31	大沢野分校閉校
47・7・2	吉田教場を生地分校に改称昇格	16・3・31	南砺分校閉校
48・3・20	創校 35 周年記念式典挙行	16・4・1	通信制に単位制導入
48・10・1	増築校舎（格技場、食堂、家庭経営保育実習室、商業実習室）竣工	19・10・23	創校 70 周年記念式典挙行
49・4・1	専攻科「保育科」設置	23・12・13	移転新校舎起工（現在地）
52・10・9	南砺分校設置（砺波地区定通課程統廃合）	24・3・31	専攻科保育コース廃止
58・4・1	創校 40 周年記念式典挙行	25・4・1	新校舎に移転（現在地）
	大沢野分校校舎独立	25・4・6	新校舎竣工式・県民生涯学習カレッジ富山地区センター開所式挙行
		26・8・4	グラウンド改修
		29・3・31	通信制生活文化科廃止
		29・10・17	創校 80 周年記念式典挙行
		令和 2・4・24	普通教室全室にエア・コンディショナー設置
		4・4・1	夜間「情報ビジネス科」を「総合ビジネス科」に改称

教職員構成

		昼間単位制	夜間単位制	通信制	専攻科	事務部	小 計
校長	1						1
教頭	(副1)	2	1	1	1	1	6
教諭		26	7	11	4		48
再任用教諭		8	6	5	0		19
養護教諭		1	1				2
実習教諭・実習助手		1	1				2
外国語指導助手		1					1
臨時的任用講師		4	1	1	2		8
非常勤講師		2	4	5	41		52
事務職員						4	4
技能主任専門員						1	1
技士							0
校務助手						1	1
栄養士			1				1
業務補助員						2	2
施設管理員						3	3
学医等						5	5
合計	1	45	22	23	48	17	156

学級編成

■昼間単位制課程

学 科	年次・男女別生徒数															クラス数					備 考
	1 年次			2 年次			3 年次			4 年次			合 計			1年次	2年次	3年次	4年次	合 計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計						
普 通	38	55	93	34	52	86	42	44	86	21	18	39	135	169	304	5	5	4	3	17	
生活文化	1	11	12	1	17	18	0	14	14	1	2	3	3	44	47	1	1	1	1	4	
合 計	39	66	105	35	69	104	42	58	100	22	20	42	138	213	351	6	6	5	4	21	

■夜間単位制課程

学 科	年次・男女別生徒数															クラス数					備 考
	1 年次			2 年次			3 年次			4 年次			合 計			1年次	2年次	3年次	4年次	合 計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計						
普 通	4	3	7	3	3	6	3	0	3	4	4	8	14	10	24	2	2	2	2	8	
総合ビジネス	0	2	2	2	3	5							2	5	7	1	1			2	
情報ビジネス							1	1	2	0	3	3	1	4	5			1	1	2	
合 計	4	5	9	5	6	11	4	1	5	4	7	11	17	19	36	3	3	3	3	12	

■通信制課程

学科・協力校			1 年次			2 年次			3 年次			4 年次			合 計			クラス数					備 考
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	1年次	2年次	3年次	4年次	合 計	
本 校	普 通		29	39	68	32	40	72	28	37	65	14	49	63	103	165	268	3	3	3	3	4	看護科目は技能連携による (2年次まで)
	衛生看護	富医				1		1							1		1	1			1		
	合 計		29	39	68	33	40	73	28	37	65	14	49	63	104	165	269	3	4	3	3	7	
協 力 校※定通併修	新 川	普 通				4	6	10	3	1	4	3	4	7	10	11	21	1	1	1	1	4	
	みどり野	福祉教養								2	2				0	2	2	1	1	1	1	4	
	となみ野	普 通				1		1		1	1		2	2	1	3	4	1	1	1	1	4	
		総合福祉													0	0	0	1	1	1	1	4	
	合 計					5	6	11	3	4	7	3	6	9	11	16	27	4	4	4	4	16	

■専攻科

学科・コース			学年・男女別生徒数									クラス数			備考
			1 年			2 年			合 計			1 年	2 年	合計	
			男	女	計	男	女	計	男	女	計				
生活科学	調理師養成課程	午前部	10	11	21	4	15	19	14	26	40	1	1	2	
		午後部	1	8	9	0	4	4	1	12	13	1	1	2	
合 計			11	19	30	4	19	23	15	38	53	2	2	4	

授業形態

■昼間単位制Ⅰ部・Ⅱ部

週 区 分		毎 週	
Ⅰ 部	普 通 科	8:55 ～ 12:25 ただし木曜日は 14:10 まで	
	生活文化科		
Ⅱ 部	普 通 科	月・火・水・金	10:45 ～ 15:05
		木	8:55 ～ 14:10

* 指定の木曜日 14:20 ～ 16:05 に定通併修スクーリングを受けることができる。
* 他部・他課程の授業を受けることができる。

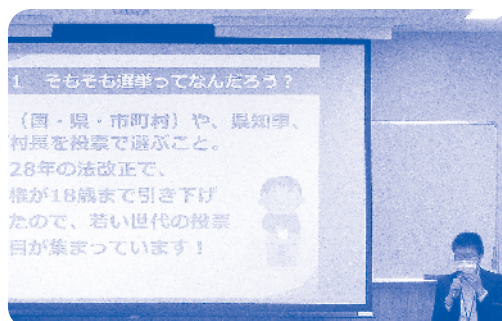


特別養護老人ホーム「白光苑」訪問活動
(昼間単位制)

■夜間単位制

週 区 分		毎 週				
曜 日		月	火	水	木	金
普 通 科 総合ビジネス科 情報ビジネス科	17:45 ～ 21:00	○		○	○	○
	17:30 ～ 21:10		○			

* 給食 16:50 ～ 始業 5 分前
* 火曜日は H R (19:00 ～ 19:40) を実施する。
* 月、水、木、金は 0 時限 (16:15 ～ 17:00) を実施する。
* 指定の木曜日 14:20 ～ 16:05 に定通併修スクーリングを受けることができる。
* 希望により昼間単位制 5・6 時限の授業を受けることができる。



選挙に関する出前授業 (夜間単位制)

■通信制

週 区 分		週あたりの授業構成					
曜 日		日	月	火	水	木	金
普 通 科	8:55 ～ 16:05	○	○		○		
衛生看護科	8:55 ～ 16:05	○					
定 通 併 修	14:20 ～ 16:05					○	

* スクーリングは年 18 回である。標準出校日数は年 25 日程度である。
* 衛生看護科は、富山市医師会看護専門学校と一部科目を技能連携している。



特別活動 (通信制)

■専攻科

週 区 分		毎 週
生活科学科 (調理師養成課程)	午前部	8:35 ～ 12:25
	午後部	13:10 ～ 17:00



調理実習「西洋料理」(専攻科)

教育課程

■昼間単位制（普通科・生活文化科） 令和5年度入学生…1 年次

◎必修科目 ○選択必修科目 ◆学校設定教科 ●学校設定科目

教 科		科 目	標 準 単位数	昼間単位制 Ⅰ・Ⅱ部	合 計 単位数	備 考 ◎必修科目 ○選択必修科目 ◆学校設定教科 ●学校設定科目
各学科に共通する各教科	国 語	◎ 現代の国語	2	2	2	・選択科目は原則として「現代の国語」及び「言語文化」の履修後に履修する。
		◎ 言語文化	2	2	2	
		論理国語	4	4	0・4	
		文学国語	4	4	0・4	
		古典探究	4	4	0・4	
		● 実用国語		2	0・2	
		● 高校国語入門		2	0・2	
		● 現代文に親しむ		2	0・2	
		● 古典に親しむ		2	0・2	
	地 理 史	◎ 地理総合	2	2	2	・「地理総合」の履修後に「地理探究」を履修する。 ・「歴史総合」の履修後に「日本史探究」及び「世界史探究」を履修する。
		地理探究	3	4	0・4	
		◎ 歴史総合	2	2	2	
		日本史探究	3	4	0・4	
		世界史探究	3	4	0・4	
	公 民	◎ 公共	2	2	2	・「公共」は入学年次及びその次の年次の2か年のうちに履修する。 ・「公共」の履修後に「倫理」「政治・経済」を履修する。
		倫理	2	2	0・2	
		政治・経済	2	2	0・2	
	数 学	◎ 数学Ⅰ	3	4	4	・「数学Ⅱ」は「数学Ⅰ」の履修後に、「数学Ⅲ」は「数学Ⅱ」の履修後に原則履修する。 ・「数学A」は「数学Ⅰ」と並行あるいは履修後に、「数学B」「数学C」は「数学Ⅰ」履修後に原則履修する。 ・「数学探究」は2～4年次に開設
		数学Ⅱ	4	4	0・4	
		数学Ⅲ	3	4	0・4	
		数学A	2	2	0・2	
		数学B	2	2	0・2	
		数学C	2	2	0・2	
		● 数学探究		2	0・2	
		● 高校数学入門		2	0・2	
	理 科	○ 科学と人間生活	2	2	0・2	・普通科は「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうちから3科目必修 ・生活文化科は○2科目（うち1科目は「科学と人間生活」とする。）、又は「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうちから3科目必修 ・「物理」「化学」「生物」については、それぞれに対応する基礎を付した科目を履修した後に履修する。 ・「地学基礎」については高認合格後、本校の定める基準により単位を認めることができる。
		○ 物理基礎	2	2	0・2	
		物理	4	4	0・4	
		○ 化学基礎	2	2	0・2	
		化学	4	4	0・4	
		○ 生物基礎	2	2	0・2	
		生物	4	4	0・4	
		○ 地学基礎	2	2	0・2	
	保 健 育	◎ 体育	7～8	1・1・1・1・1・1・1・1	7～10	・「保健」は原則として、入学年次及びその次の年次で1単位ずつ履修する。
		◎ 保健	2		2	
	芸 術	○ 音楽Ⅰ	2	2	0・2	・○1科目必修 ・Ⅱを付した科目はⅠを付した科目を履修した後に履修する。
		音楽Ⅱ	2	2	0・2	
		○ 美術Ⅰ	2	2	0・2	
		美術Ⅱ	2	2	0・2	
		○ 書道Ⅰ	2	2	0・2	
		書道Ⅱ	2	2	0・2	
		● 生活の書		2	0・2	
	外国語	◎ 英語コミュニケーションⅠ	3	4	4	・「英語コミュニケーションⅡ」は原則として「英語コミュニケーションⅠ」履修後に履修する。 ・「実践英語」は2～4年次に開設
		英語コミュニケーションⅡ	4	4	0・4	
		論理・表現Ⅰ	2	2	0・2	
		● 高校英語入門		2	0・2	
		● 英会話		2	0・2	
		● 実践英語		4	0・4	
		● 中国語		2	0・2	
		● 中国語会話		2	0・2	
	家 庭 情 報	◎ 家庭総合	4	4	4	・生活文化科は「生活産業情報」を以て代替
		◎ 情報Ⅰ	2		2	
	◆校外活動	● 社会体験活動		1・1	0・1・2	学校外の学修
主として専門学科において開設される各教科	商 業	ビジネス基礎	2～4	2	0・2	
		マーケティング	2～4	2	0・2	
		ビジネス法規	2～4	2	0・2	
		簿記	2～4	2	0・2	
		情報処理	2～6	2	0・2	
	家 庭	◎ 生活産業基礎	2	2	2	※生活文化科のみ受講可能 ※生活文化科のみ受講可能 ※生活文化科のみ受講可能 ・普通科は2単位、生活文化科は4単位 ・普通科は2単位、生活文化科は4単位 ※生活文化科のみ受講可能 ※生活文化科のみ受講可能 ※生活文化科のみ受講可能 ※生活文化科のみ受講可能 ※生活文化科のみ受講可能 ※生活文化科のみ受講可能 ※生活文化科のみ受講可能
		◎ 課題研究	2～4	4	4	
		◎ 生活産業情報	2～4	2	2	
		保育基礎	2～6	2・4	0・4	
		生活と福祉	2～4	2・4	0・4	
		住生活デザイン	2～6	2	0・2	
		ファッション造形基礎	2～7	4	0・4	
		ファッション造形	2～10	4	0・4	
		服飾手芸	2～4	2	0・2	
		フードデザイン	2～7	4	0・4	
		調理	2～14	4	0・4	
		栄養	2～3	2	0・2	
		● 生活教養		2	0・2	
	音 楽	鑑賞研究	2	2	0・2	
	美 術	ビジュアルデザイン	2～6	2	0・2	
		クラフトデザイン	2～6	2	0・2	
	総合的な探究の時間 （自立を目指す個性と心の探究）		3～6	1・1・1・1・1	3～6	・生活文化科は「課題研究」を以て代替
	サポート・スタディ◇			1・2	0～2	学校教育法施行規則第85条に基づき設定する障害に応じた特別指導
	単 位 数 計			74～	74～	
	ホームルーム活動			1・1・1・1	3～4	
	週当たり授業時数			21	－	

■夜間単位制（普通科・情報ビジネス科） 令和5年度入学生…1年次

◎必履修科目 ○選択必履修科目 ◆学校設定教科 ●学校設定科目

教 科		科 目	標 準 単位数	夜間単位制	合 計 単位数	備 考 ◎必履修科目 ○選択必履修科目 ◆学校設定教科 ●学校設定科目	
各学科に共通する各教科	国 語	◎ 現代の国語	2	2	2	・「現代の国語」および「言語文化」を履修後に受講可能。 ・「現代の国語」および「言語文化」を履修後に受講可能。	
		◎ 言語文化	2	2	2		
		文学国語	4	4	0・4		
		国語表現	4	4	0・4		
		● 日本語を学ぼう		2	0・2		
		● やさしい国語		2	0・2		
	● 楽しむ古典		2	0・2			
	地 理 史	◎ 地理総合	2	2	2	・「地理総合」履修後に受講可能。	
		地理探究	3	4	0・4		
		◎ 歴史総合	2	2	2	・「歴史総合」履修後に受講可能。	
		日本史探究	3	4	0・4		
		世界史探究	3	4	0・4	・「歴史総合」履修後に受講可能。	
		● 世界の国々		2	0・2		
		● 富山の歴史		2	0・2		
	公 民	◎ 公共	2	2	2	・「倫理」「政治経済」は「公共」履修後に受講可能。	
		倫理	2	2	0・2		
		政治・経済	2	2	0・2		
		● 時事問題		2	0・2		
	数 学	◎ 数学Ⅰ	3	4	4	・「数学Ⅰ」履修後または同時に受講可能。 ・「数学Ⅰ」履修後に受講可能。 ・「数学Ⅰ」履修後に受講可能。 ※普通科のみ受講可能。	
		数学A	2	2	0・2		
		数学B	2	2	0・2		
		数学C	2	2	0・2		
	理 科	● 数学入門		2	0・2	・○から2科目（うち1科目は「科学と人間生活」とする）、 または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」及び「地学基礎」 のうちから3科目が必修	
		○ 科学と人間生活	2	2	0・2		
		○ 物理基礎	2	2	0・2		
		○ 化学基礎	2	2	0・2		
		○ 生物基礎	2	2	0・2		
		○ 地学基礎	2	2	0・2		
		● 科学実践		2	0・2		
		● 物理基礎探究		2	0・2		
		● 化学基礎探究		2	0・2		
		● 生物基礎探究		2	0・2		
		● 環境の科学		1	0・1		
	保 健 体 育	◎ 体育	7～8	1・1・1・1・1・1・1・1	7～10		
		◎ 保健	2	1・1	2		
	芸 術	○ 音楽Ⅰ	2	2	0・2	・○1科目が必修。	
		○ 美術Ⅰ	2	2	0・2		
		○ 書道Ⅰ	2	2	0・2		
		● ペン習字		2	0・2		
		● 演奏を楽しむ		2	0・2		
		◎ 英語コミュニケーションⅠ	3	4	4		・「英語コミュニケーションⅠ」を履修後に受講可能。 ・「英語コミュニケーションⅠ」を履修後に受講可能。 ※普通科のみ受講可能。 ・「英語コミュニケーションⅠ」を履修後に受講可能。
	英語コミュニケーションⅡ	4	4	0・4			
	論理・表現Ⅰ	2	2	0・2			
	● 英語入門		2	0・2			
	外国語	● ビジネス英語初級		2	0・2		
		◎ 家庭基礎	2	2	2		
	家 庭 情 報	◎ 情報Ⅰ	2	2	2		
		キャリア	● ライフ&ワーク		1	0・1	
	◆校外活動	● ボランティア活動		1・1	0・1・2		
主として専門学科において開設される各教科	商 業	◎ ビジネス基礎	2～4	2	2	※総合ビジネス科のみ受講可能。 ※総合ビジネス科のみ受講可能。 ※総合ビジネス科のみ受講可能。 ※総合ビジネス科のみ受講可能。	
		◎ 課題研究	2～6	2・4	2・4		
		マーケティング	2～4	2	0・2		
		ビジネス・マネジメント	2～4	2	0・2		
		ビジネス法規	2～4	2	0・2	※総合ビジネス科のみ受講可能。 ※総合ビジネス科のみ受講可能。	
		簿記	2～4	4	0・4		
		情報処理	2～6	2	0・2		
		ソフトウェア活用	2～6	4	0・4		
		● 簿記入門		2	0・2	・「ビジネススキルA」履修後に受講可能。 ・「ビジネススキルB」履修後に受講可能。	
		● ビジネススキルA		2	0・2		
		● ビジネススキルB		2	0・2		
		● ビジネス実践A		1	0・1		
		● ビジネス実践B		1	0・1		
	家 庭	保育基礎	2～6	2	0・2		
		フードデザイン	2～7	2	0・2		
	総合的な探究の時間 （ライフデザイン）			3～6	1・1・1・1・1・1	0～6	※普通科の合計単位数は3～6。 総合ビジネス科は「課題研究」を以て代替可能。
	単 位 数 計				74～	74～	
ホームルーム活動				1・1・1・1	3～4		
週当たり授業時数				21	－		

※本校へ転入学・編入学した生徒については、前籍校の教育課程も考慮して卒業認定を行う。

※この他に他部受講（昼間単位制）・定通併修・高卒程度認定試験合格により単位修得ができる。（一定の条件あり）

■通信制（普通科・衛生看護科） 令和5年度入学生…1年次

教 科	科 目	標 準 単位数	1 年次～ 4 年次	合 計 単位数	備 考		
					○必修科目 ◆学校設定教科	○選択必修科目 ●学校設定科目	
各学科に共通する各教科	国 語	◎ 現代の国語	2	2	・ 選択科目は原則として「現代の国語」及び「言語文化」の履修後に履修する。		
		◎ 言語文化	2	2			
		論理国語	4	4		0・4	
		文学国語	4	4		0・4	
		国語表現	4	4		0・4	
		古典探究	4	4		0・4	
		● 高校国語入門		2・2		0・2・4	
		● 郷土文学に親しむA		2		0・2	
	地 理 史	● 郷土文学に親しむB		2	0・2	・ 「地理総合」の履修後に「地理探究」を履修する。 ・ 「歴史総合」の履修後に「日本史探究」及び「世界史探究」を履修する。	
		◎ 地理総合	2	2	2		
		地理探究	3	4	0・4		
		◎ 歴史総合	2	2	2		
		日本史探究	3	4	0・4		
	公 民	世界史探究	3	4	0・4	・ 「公共」は入学年次及びその次の年次の2カ年の間に履修する。 ・ 「公共」の履修後に「倫理」「政治・経済」を履修する。	
		◎ 公共	2	2	2		
		倫理	2	2	0・2		
	数 学	政治・経済	2	2	0・2	・ 「公共」は入学年次及びその次の年次の2カ年の間に履修する。 ・ 「公共」の履修後に「倫理」「政治・経済」を履修する。	
		◎ 数学Ⅰ	3	4	4		
		数学Ⅱ	4	4	0・4		
		数学A	2	2	0・2		
		数学B	2	2	0・2		
	理 科	● 高校数学入門		2・2	0・2・4	・ Ⅱを付した科目はⅠを付した科目を履修した後に履修する。 ・ 「数学探究」は令和6年度より開講する。 ・ 「数学B」は「数学Ⅰ」の履修後に履修する。	
		● 数学探究		2	0・2		
		○ 科学と人間生活	2	2	0・2		
		○ 物理基礎	2	2	0・2		
		物理	4	4	0・4		
		○ 化学基礎	2	2	0・2		
		化学	4	4	0・4		
		○ 生物基礎	2	2	0・2		
		生物	4	4	0・4		
		● よくわかる最新の科学A		2	0・2		
	保 健 体 育	◎ 体育	7～8	1・1・1・1・1・1・1・1・1	7・8・9・10	・ 「体育」は7単位必修 ・ 「保健」は原則入学年次およびその次の年次で1単位ずつ履修する。	
		◎ 保健	2	1・1	2		
	芸 術	○ 音楽Ⅰ	2	2	0・2	・ ○1科目必修 ・ Ⅱを付した科目はⅠを付した科目を履修した後に履修する。	
		音楽Ⅱ	2	2	0・2		
		● 音楽探究A		2	0・2		
		● 音楽探究B		2	0・2		
		○ 美術Ⅰ	2	2	0・2		
		美術Ⅱ	2	2	0・2		
		○ 書道Ⅰ	2	2	0・2		
		書道Ⅱ	2	2	0・2		
	外国語	◎ 英語コミュニケーションⅠ	3	4	4	・ Ⅱを付した科目はⅠを付した科目を履修した後に履修する。	
		英語コミュニケーションⅡ	4	4	0・4		
		論理・表現Ⅰ	2	2	0・2		
		● 高校英語入門		2・2	0・2・4		
	家 庭 情 報	● 初級英会話		2	0・2		
		◎ 家庭総合	4	4	4		
◆キャリア	◎ 情報Ⅰ	2	2	2			
	● キャリア初級		2	0・2			
	● キャリア基礎		2	0・2			
	● キャリア応用		2	0・2			
主として専門学科において開設される各教科	商 業	ビジネス基礎	2～4	2・2	0・2・4	・ 「ハンドメイド」は令和6年度より開講する。	
		観光ビジネス	2～4	2	0・2		
		簿記	2～4	2・2	0・2・4		
	家 庭	保育基礎	2～6	2	0・2		・ 「ハンドメイド」は令和6年度より開講する。
		フードデザイン	2～7	4	0・4		
		● ハンドメイド		2	0・2		
	看 護	△ 基礎看護	2～12		4		・ △技能連携科目 ・ 技能連携施設は、富山市医師会看護専門学校看護学科である。
		△ 人体の構造と機能	2～7		2		
		△ 疾病の成り立ちと回復の促進	2～8		2		
		△ 健康支援と社会保障制度	2～7		2		
△ 成人看護		2～6		2			
△ 老年看護		2～4		2			
△ 精神看護		2～4		2			
△ 看護臨床実習		2～21		10			
総合的な探究の時間 (学び方・考え方の探究)		3～6	2・2・2	4～6	・ 4単位必修		
単 位 数 計		74～					
特 別 活 動		ホームルーム活動を含め40時間以上					

※本校へ転入学、編入学した生徒については、前籍校の教育課程も考慮し卒業認定を行う。

※特別な事情に限り、校長の許可により、他課程の科目を履修することができる。

■専攻科 (生活科学科 調理師養成課程) 令和5年度入学生…1年次

教科目	食生活と健康	食品の安全と衛生	食品と栄養の特性	調理理論と食文化概論	調理実習	総合調理実習	プロ調理基礎演習	調理師と社会	計
単位数	3	5	5	6	10	3	1	2	35

学校行事

	昼間単位制	夜間単位制	通 信 制	専 攻 科
4 月	入学式			
5 月	地域交流活動		進路研修(就職)	特別講話
6 月	県定通体育大会 県定通陸上競技大会			
7 月			校内生活体験発表会	就職セミナー
	全国高総文祭			校外実習(2年)
8 月			球技大会(ボウリング)	
	全国定通体育大会 進路研修(進学)			
9 月	校内生活体験発表会 (遠足)	スポーツ大会	中部地区生活体験発表会	校外学習(1年) 金沢研修(2年)
	前期卒業式			海外研修旅行(隔年)
10月	後期入学式			
	県生活体験発表大会 北信越定通総体 富山県高文祭			
11月	学園祭			フレンチレストラン
	学びの体験オープンハイスクール			
12月	高齢者福祉施設訪問(継続的に)		美術鑑賞 進路教室	
	読書会			
1 月		課題研究発表会(総合ビジネス科)		
2 月	課題研究発表会(生活文化科) 球技大会	校内生活体験発表会 校外学習		調理技術発表会 校外学習(1年)
3 月	卒業式			

部活動

昼間単位制	夜間単位制	通 信 制
バスケットボール 陸上 バレーボール 卓球 バドミントン 柔道 剣道 軟式野球 写真 美術・イラスト 演劇 茶道 英会話 日本音楽 家庭(同好会) 囲碁・将棋(同好会) ダンス(同好会)	バスケットボール バレーボール 卓球 柔道 バドミントン 陸上 軟式野球 ビジネス実践 新聞 軽音楽 写真・美術イラスト ゴスペル(同好会)	陸上競技 卓球 バスケットボール 軟式野球 柔道 バドミントン 剣道 生活研究 文化研究



第14回海外研修旅行
「凱旋門前にて」(専攻科)

学費・特典

	昼間単位制	夜間単位制	通 信 制	専 攻 科
授業料	年額 1単位あたり1,620円		年額 1単位あたり300円	年額 118,800円
	・高等学校等就学支援金受給認定者は無償 ・公立学校の授業料無償制適用者は無償			
入学科	2,100円	2,100円	なし	5,650円
諸経費	年額 約14,000円	年額 約67,000円 (給食費約54,000円含む)	年額 約14,000円	教材・実習費等 年額 約95,000円
	教科書・学習書代 約5,000円～7,000円 (入学時) 制服・体操服代 昼間:約78,000円 夜間:約56,000円(制服は希望者のみ購入)		教科書・学習書代 年額約8,000～18,000円	教科書代・厨房着・包丁一式他 約73,000円
特典	定時制教科書及び通信制教科書学習書無償給与(有職者)			
		給食費補助 〔有職者かつ授業料 免除対象者に準ずる者〕	第4種郵便適用	修学支援制度有 授業料減免制度有
	各種奨学金制度 所得税勤労学生控除			

地区別・出身中学校別生徒数

地区	中学校	昼単	夜単	通信
下新川郡	朝 日	1		3
	入 善	4		5
	入 善 西			4
黒部市	宇 奈 月	1		1
	晴 明	2		
	明 峰			1
	桜 井			2
魚津市	西 部	4		5
	東 部			2
滑川市	滑 川	7		11
	早 月	10	1	1
中新川郡	上 市	8		5
	舟 橋	2		
富山市	雄 山	16	1	8
	八 尾	13	2	13
	杉 原	6	1	2
	速 星	19		7
	城 山	7		6
	山 田	4		1
	楡 原	1		1
	芝 園	11		7
	堀 川	25	1	11
	東 部	5	4	3
	西 部	14	3	7
	南 部	10	1	11
	北 部	14	1	7
	新 庄	19	4	10
	岩 瀬	4		4
	山 室	19	2	7
	奥 田	18	4	4
	大 泉	14	2	4
	月 岡	3	1	1
	呉 羽	9		
	水 橋	3		2
	三 成	4		
	和 合	9		5
	興 南	6		4
	藤 ノ 木	10		8
	大 沢 野	10		9
	上 滝	2		1
	富山大学附属	1		2
	高 志 支 援			
	富山聴覚総合支援			
	ふるさと支援	2		
	片 山 学 園			1

地区	中学校	昼単	夜単	通信
射水市	小 杉 杉	4	2	8
	小 杉 南	2	2	2
	大 門	6	1	2
	新 湊 南 部			1
	射 北	5		5
	新 湊	1		4
氷見市	南 部			
	北 部		1	3
	十 三			
	灘 浦			
	西 條			1
	西の杜学園義務教育			
高岡市	高 陵			1
	高 岡 西 部	1		5
	南 星			3
	志 貴 野	2		8
	芳 野	3		6
	牧 野	1		2
	伏 木			2
	国吉義務教育	1		1
	五 位			1
	戸 出	1		2
	中 田			
	福 岡	1		9
砺波市	出 町	1		2
	庄 西	1		2
	般 若			
	庄 川			1
南砺市	城 端			
	平			
	利 賀			
	井 波			2
	井 口			1
	福 野			2
	福 光			1
	吉 江			1
小矢部市	南砺つばき義務教育			
	石 動			1
	大 谷			1
	津 沢			
小矢部市	蟹 谷			1
	県外	1		3
	海外	3	2	
	その他			
計		351	36	269

進路状況

		昼単	夜単	通信	合計
卒 業 者 数		99	16	46	161
進 学	大 学	11	1	6	18
	短 大	4	0	3	7
	専門・各種学校	29	5	11	45
	看 護 学 校	3	0	1	4
	高 校 専 攻 科	4	0	0	4
	小 計	51	6	21	78
就 職	就 職	30	2	10	42
	現 職 の 継 続	0	6	2	8
	小 計	30	8	12	50
そ の 他		18	2	13	33

		専攻科
卒業業者数		20
就職	専門分野	16
	専門分野外	0
	現職の継続	0
進学		2
その他		2



校歌

作詞 山森利栄

作曲 渡辺賢之

一、 靈峰太刀の精宿し

碧に澄める神通の

流れを汲みて学舎の

道にいそしむ我が友ぞ

二、 夕べ月影ゆらめけば

久遠の自由を求めつゝ

明日日本を荷はんと

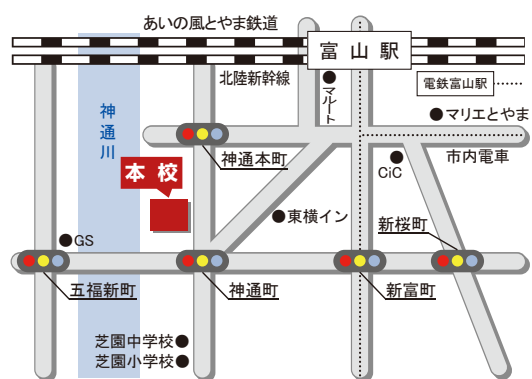
勢ふ剛毅の意気見ずや

三、 前途の浪路荒るゝとも

希望の星は輝けり

堅忍持久一すぢに

雄々しく行かん手を取りて



富山県立雄峰高等学校

〒930-0009 富山市神通町二丁目12番20号
 TEL.076-441-4951(代表) FAX.076-443-1695
 URL: <http://www.yuho-h.tym.ed.jp/>